

令和 4 年度「情報通信月間」総務大臣表彰

1 個人：7 件

(敬称略)

| 氏 名 | 功績の概要 |
|--|--|
| <p>ごとう あつひろ 後藤 厚宏</p> <p>情報セキュリティ大学院大学 学長</p> | <p>総務省サイバーセキュリティタスクフォースの座長として、ICTサイバーセキュリティ総合対策の策定を始め長年にわたり政策の推進に尽力するとともに、サイバーセキュリティに関する研究開発や人材育成などを通じて我が国のサイバーセキュリティの強化に多大な貢献をした。</p> |
| <p>たかしま はつひさ 高島 肇久</p> <p>株式会社海外通信・放送・郵便事業支援機構 前 取締役会長</p> | <p>長年にわたり国際放送の充実・強化に取り組まれた実績に基づく、放送事業や海外事業に関する豊富な経験と高い見識を活かし、株式会社海外通信・放送・郵便事業支援機構の初代取締役会長として、国内通信・放送事業者をはじめ、多様な関係者との連携強化や同機構の認知向上等に尽力した。</p> |
| <p>たかはし くにお 高橋 邦夫</p> <p>合同会社 KU コンサルティング 代表社員</p> | <p>平成 27 年度以降、地域情報化アドバイザーとして多数の業務改革等を支援するとともに、過去 5 か年において、全地域情報化アドバイザーの中で最多の派遣実績を記録し、ICTを活用した地域課題解決に多大な貢献をした。</p> |
| <p>たん やす お 丹 康雄</p> <p>北陸先端科学技術大学院大学 副学長 先端科学技術研究科 教授 デジタル化支援センター長</p> | <p>北陸先端科学技術大学院大学デジタル化支援センター長として、地方公共団体が進めるスマートシティの取組を支援するとともに、省資源化に資するシングルペアーサネット通信の実装ガイドラインをとりまとめ、また北陸地域のデジタル化を先導するなど、情報通信の発展に多大な貢献をした。</p> |
| <p>のぐち のぼる 野口 伸</p> <p>北海道大学大学院 農学研究院 副研究院長・教授</p> | <p>長年にわたり無線通信技術を活用したロボット農機の研究開発に従事し、またスマート農業を基盤とした地域活性化モデルの構築に尽力し、5G等を活用した無人トラクタの自動走行の実用化を先導するなど、ICTの普及発展に多大な貢献をした。</p> |
| <p>まえだ よういち 前田 洋一</p> <p>一般社団法人 情報通信技術委員会 顧問</p> | <p>長年にわたりブロードバンドネットワーク及び光アクセスシステムの標準化活動に尽力するとともに、フォーラム標準とデジュール標準との連携を強化するなど、国内外の標準化活動において数々の中心的役割を果たすことで、我が国及びアジア太平洋地域の地位向上に貢献をした。</p> |

| | |
|--|---|
| <p>やなぎだ としお 柳田 敏雄</p> <p>国立研究開発法人情報通信研究機構 脳情報通信融合研究センター アドバイザー 大阪大学 名誉教授</p> | <p>国立研究開発法人情報通信研究機構における脳情報通信融合研究センターの設立に尽力するとともに、研究センター長として長年にわたり脳科学とICTが異分野融合した最先端の研究領域である脳情報通信の確立及び発展に多大な貢献をした。</p> |
|--|---|

2 団体：2件

(敬称略)

| 団体名 | 功績の概要 |
|--|---|
| <p>一般社団法人 全国地域映像団体協議会</p> <p>(理事長 えんどう まこと 遠藤 誠)</p> | <p>放送コンテンツの製作取引適正化に関するガイドラインの周知広報活動を推進し、地方の番組製作会社の製作環境の向上に尽力するとともに、全映協グランプリにおいて地方の優れた作品を表彰するなど、映像製作支援に多大な貢献をした。</p> |
| <p>加古川市</p> <p>(市長 おかだ やすひろ 岡田 康裕)</p> | <p>平成29年度データ利活用型スマートシティ推進事業を活用して見守りタグ検知機能を搭載した「かこがわアプリ」を構築し、官民連携による見守りサービスを実現し、さらに令和3年に加古川市スマートシティ構想を策定し、市民中心の課題解決型スマートシティに取り組まれるなどスマートシティの普及促進及びICTを活用したまちづくりの推進に多大な貢献をした。</p> |